

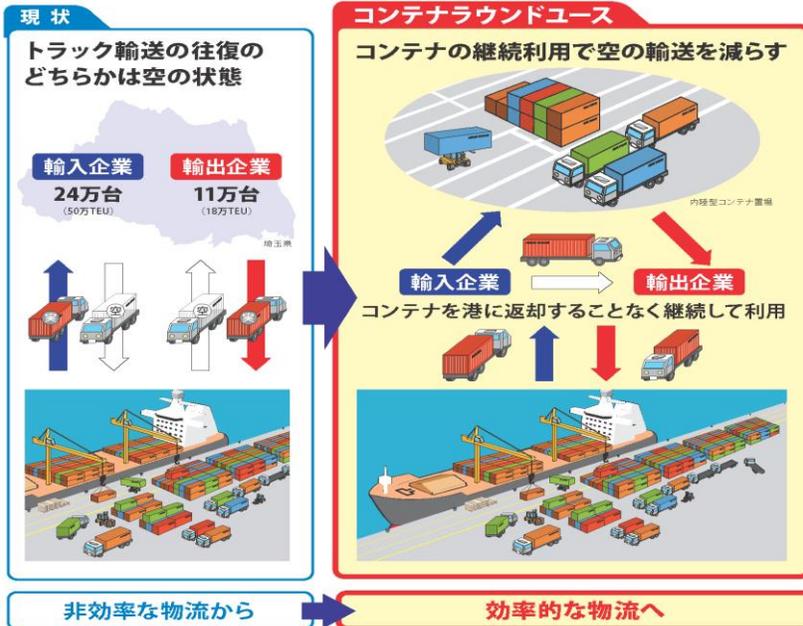
CRUの実績と効果・検証



埼玉県では、県内企業の海上コンテナ物流に起因する諸課題を解決するため、コンテナの往復利用で空の輸送を減らすコンテナラウンドユースの取り組みを行っています。

■コンテナラウンドユースとは

※輸入企業が使った海上コンテナを輸出企業へ継続して利用することで、空（カラ）コンテナの輸送を減らす取り組みです。



■埼玉県コンテナラウンドユース推進協議会 H26.10.21設立

多社異業種による構成



企業連携・推進活動を後押し

連携したい

県



81団体 (H29.6現在)



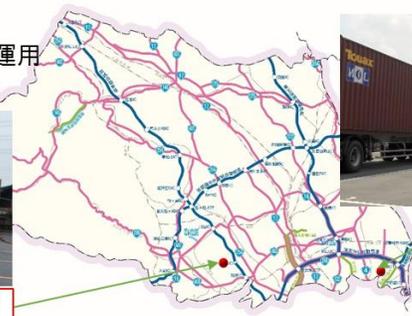
取組	
(1) 協議会	<ul style="list-style-type: none"> 協議会開催実績(全6回) 分科会開催実績(全5回)
(2) 社会実験	<ul style="list-style-type: none"> CRU実績の把握 お試しデポ
(3) PR	<ul style="list-style-type: none"> 国際物流展へ出展 事例集の作成、公開

○お試しデポ

協議会構成員による試験運用
社会実験終了後も継続中



No.1 タツミデポ



No.2 八潮運輸デポ

CRUの概念

協議会資料から

タツミトランスポート & デポの紹介

海上コンテナ輸送のスペシャリスト
埼玉と京浜を結ぶ、
タツミトランスポート株式会社
東京港営業所 横浜港営業所



東京港、横浜港で大きく占める埼玉県貨物

近年増加している埼玉県の輸出入コンテナ貨物

東名・中央・関越・東北そして圏央道が結ぶ埼玉県

コンテナラウンドユース拠点「**タツミデポ**」

埼玉県狭山市
2400坪
全面舗装

面積が広く、立地のよい「**タツミデポ**」をぜひご利用ください。

埼玉県狭山市上赤坂597-3
トラクターヘッド60西
コンテナトレーラー119両

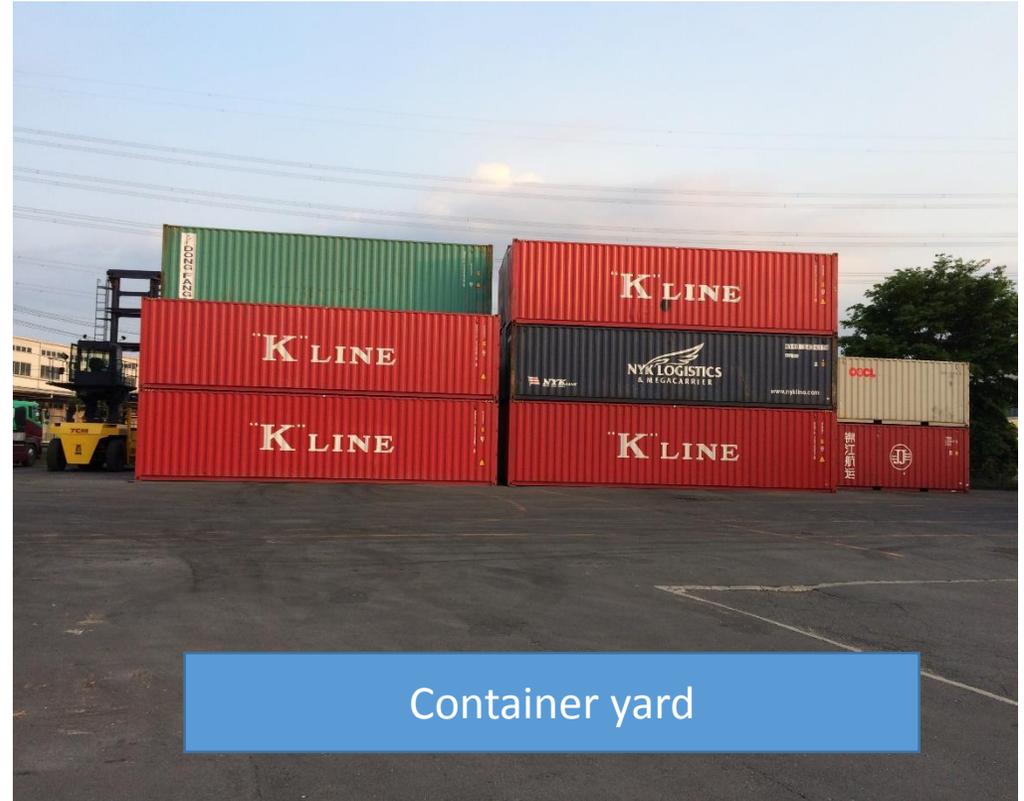
当社は埼玉県コンテナラウンドコース推進協議会に参加しています。

- 設立：平成16年1月
- 本社：所沢市下富857-6
- デポ：狭山市上赤坂597-3
- 東京：大田区東海5-5-1
- 横浜：横浜市中区錦町15
- 車両：トラクターヘッド 60両
- シャーシ：40FT X 84両
- 20FT X 33両

タツミデポへのアクセス
使い易い道路環境



お試しデポから船社デポに



空コンテナのインスペクション



現況認識

東京港コンテナターミナル、周辺道路の慢性の渋滞
コンテナターミナルのゲート待機時間の長期化
荷主から指定時間の遅延(要因は)

(TEU)

	29年上半期	28年上半期	前年比
合計	219万	206万	106.50%
輸出	101万	95万	105.80%
輸入	118万	110万	107.10%

環境問題との絡みから

改善効果の検証



検証？

AAA: CO2削減量は

ピックアップにかかる時間・距離の短縮

ドライバーの働き方

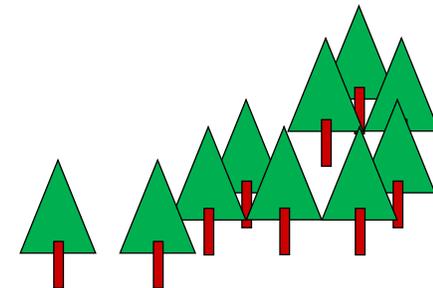
CO₂削減量

タツミトランスポート

社会実験実績 184本分

15t-CO₂

スギ1,048本／年 CO₂吸収相当



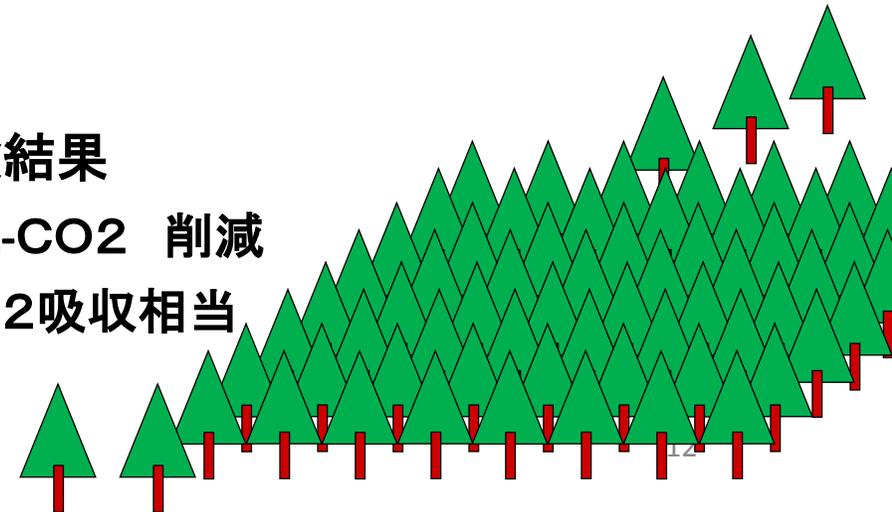
CO2削減量

タツミトランスポート 実績 220本分
CO2 排出量 17.6t-CO₂ 削減
スギ1,188本／年 CO₂吸収相当

※以下の値から推定

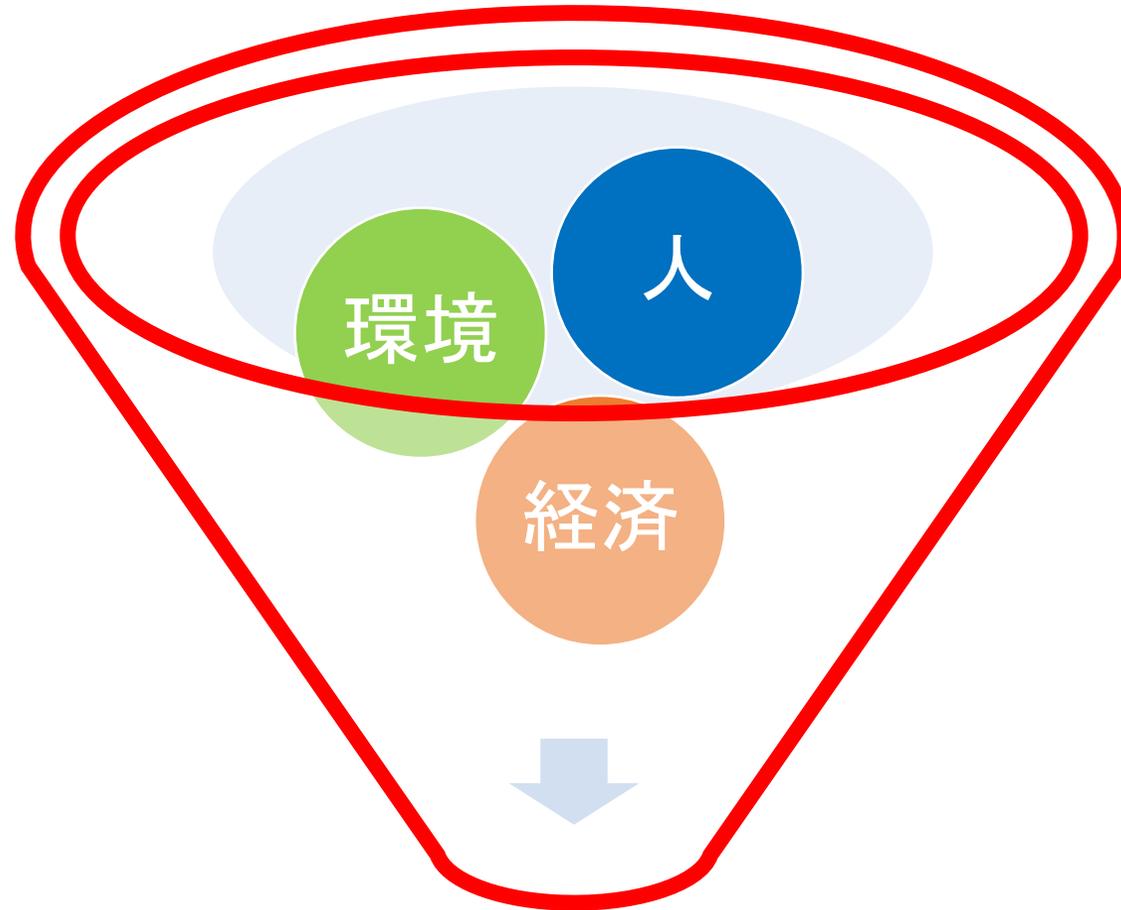
埼玉県コンテナラウンドユース社会実験結果

1ラウンドユースあたり CO2 排出量 0.08t-CO₂ 削減
スギ5.4本／年 CO₂吸収相当



官民の役割（協議会）

CRUのKey Word



今年も皆様方には大変
お世話になりました
ありがとうございました

